

本校は、万葉集にも詠われ、悲劇の大津皇子が埋葬されたとされている二上山（「にじょうざん」「ふたかみやま」とも言う）の麓、大阪府と隣接した奈良県北西部に位置しています。

明治7年、当時の下田村、狐井村、五ヶ所村、五位堂村の人々によって下田真宗寺の境内及び堂宇を仮校地、校舎として開設された誠弘舎が始まりです。その後、逢阪村西念寺の境内及び堂宇を仮校地、校舎として開設された健業舎と1つになり、明治19年に下田尋常小学校となりました。

本年度は、昨年度に続き、学校教育目標「主体的に学び続け、心豊かにたくましく生きる子どもの育成～まなびあい・そだちあい～」を掲げ、コミュニティースクールの機能を活かして、学校と家庭と地域が一体となって子どもを育てる教育活動を展開します。さらに、子どもたちが大人になったとき、「この町がすき!」「この学校がすき!」と胸を張って語れるようになることを願い、140年を越える歴史と伝統を大切に受け継ぎながら、子どもたちや地域の皆様とともに新しい文化を創造したいと考えています。新入生130名を迎え、全校児童768名（令和5年4月1日現在）の大規模校であります。

なお、本校の取組につきましては、このホームページを通してお知らせいたします。是非、ご高覧いただき、ご意見やご感想などをお寄せいただければ幸いです。

学校長 関川圭造